



■ 第1回あおいMAXのテーマ ■ \*生徒会の提案から 2019. 6.10(月)5限  
 「あいさつ・思いやり・今が大切」の正体を明かし、よりパワーアップした葵中学生を目指そう！

① あいさつ → 「運」 ② おもいやり → 「信頼」 ③ 今が大切 → 「夢」

自ら・元気に・10m 声をかけ・手をさしのべ・肩を寄せ合う 勉強・部活・友達

発行所  
 岡崎市立葵中学校  
 (電話 21-0171)  
 (FAX 21-0172)

6月号

れ、葵中学校の代名詞とも言える存在になっている。それだけに、ただの飾り言葉になってほしくないし、それを具体的な行動で示すワンランク上の中学生でいてほしいと思う。生徒会はその姿を全校生徒で確認しようと、第1回あおいMAXを企画・開催した。

そしてそれぞれ学級で話し合ってきた1つ1つの具体的な姿を多くの生徒が発表し、全校生徒で多様なとらえ方があることを確認した。



昨年10月、水道工事で本校を訪れた作業員さんが、工事の手を止めて、私にこんな話をされた。

「この生徒は偉いなあ。こんなワシにもちゃんとあいさつしてくれるなあ。去年〇〇中学校へも行ったが、そんな生徒はおらんかったなあ。すごいと思うよ」

「あいさつ、思いやり、今が大切」。校名を頭文字に据えた本校の生活信条は、「心の目標」として昭和45年に誕生した。

以来50年。今なお大切に受け継が

私は、あおいMAXで生徒たちが発表した思い思いの姿に、葵中生のよさを見る思いがした。そして、水道工事の作業員さんに思いを届けた生徒たちを誇りに思う。

・あいさつができる人には、運が向く  
 ・「思いやり」のある人には、たくさんの人たちと信頼関係が生まれる  
 ・「今が大切」と感じている人には、夢があって、その夢を実現する

生徒会が提案した生活信条の未来像に、ただただ頷くばかりである。

ところで、1月に行われる市民駅伝に、「あいさつ・思いやり・今が大切」というチームが毎年参加している。そのメンバーが誰かは知らないが、葵中OBであろうことは容易に想像がつく。覚えやすさと同時に、それを人生訓として大切にしている卒業生の姿が目につく。

また、大リーグで活躍中の大谷翔平選手は、高校生のときに作った目標達成シートに、「運」をつかむために必要なものをこう記した。

「あいさつ」「ゴミ拾い」「本を読む」「プラス思考」「審判さんへの態度」「部屋そうじ」「応援される人間になる」

なるほど、あいさつができる人には、きっと人生の運がめぐってくるだろうし、他の項目にも同様な期待感がある。

昨年10月、水道工事で本校を訪れた作業員さんが、工事の手を止めて、私にこんな話をされた。

「この生徒は偉いなあ。こんなワシにもちゃんとあいさつしてくれるなあ。去年〇〇中学校へも行ったが、そんな生徒はおらんかったなあ。すごいと思うよ」

「あいさつ、思いやり、今が大切」。校名を頭文字に据えた本校の生活信条は、「心の目標」として昭和45年に誕生した。

以来50年。今なお大切に受け継が

# 岡崎市総合体育大会続々

## 祝！入賞



### ●水泳部男子

二〇〇m個人メドレーリレー

二位

一〇〇m平

三位

四〇〇mリレー

三位

### ●水泳部女子

一〇〇mバタ

優勝

二〇〇m自

### 今回の経験を糧に、市長杯へ

水泳部男子



僕たち三年生に

とっては最後の総

体。その目標は総

合優勝でしたが、

結果は四位でした。

しかし、大会まで

の準備、片付け、

応援は今までの大

会の中でいちばんよくできていたと思

います。特に応援は「どの学校よりも

大きい声で」と声を掛け合い、声が枯

れるまでチームの選手を全力で応援す

ることができました。

市長杯でも、チーム一丸となって戦

い、目標である優勝に向かって強く

なっていきたいです。

### 少人数でも入賞を目指す

水泳部女子

中学校最後の総合体育大会。今まで

の女子水泳部は、少ない人数でも多く

の入賞を勝ち取ることができました。

そして、先輩たちの功績もすばらしい

ものがありました。今年も、これに続

きたい。その思いで、今まで練習を頑

張ってきました。

今回の総体では、

思うような結果

が出なかった種目

もあります。残る

大会は市長杯のみ。

夏の市長杯に向け

て一秒でも速く泳

げるように、残り

わずかな練習に全力を尽くしたいです。



## 三年生 修学旅行

### 貴重な経験ができた班別行動

三年一組

僕は、班別行動で浅草寺と最高裁判

所に行きました。最高裁判所では、裁

判員制度や建物の説明を受けて、たく

さん学ぶことができ、貴重な経験とな

りました。

浅草寺では、雷門、常香炉で香りと

煙で体を清めました。楽しみにしてい

たもんじゃ焼きは定休日で行けなかつ

たけれど、仲間とルールや時間を守り、

楽しく行動ができたこと。相手への思

いやりをみんながもてたこと。それら

を含めて、思い出に残る最高の修学旅行になりました。

### 世界中で読まれている漫画

三年二組

私は集英社に行

きました。私たち

に昔から親しまれ

ている漫画は世界

中で読まれている

ことがわかりまし

た。海外で売って

いる週刊少年ジャ

ンプは、日本と違

って左開きです。日

本のジャンプは分厚いけれど、海外の

ジャンプは作品数が限られてしまうの

で薄かったです。また、海外にはコレ

クターが多いので、日本にはない付録

を付けるそうです。たくさんの人に読

んでもらえるようにさまざまな工夫が

されているんだなと思いました。



### 気遣いを行動に

三年三組

「気遣い」

これは僕らの修学

旅行の目標の一部

でした。僕のクラ

スには、けがをし

て松葉杖で歩かな

ければならない子

がいました。声を

掛け、手助けする

仲間のおかげで全



員が楽しく三日間を過ごすことができましたが、僕ももっと気付いたことを行動に移せたらと後悔している部分もあります。このことを生かして、共に過ごす仲間を気遣い、いつでも行動に移せる自分でありたいと思います。

### 国会をこの目で見て

三年四組

廊下のほとんどが石で造られ、赤い

絨毯が敷かれている光景を目にした

とき、想像していたものと違っていて

驚きました。国会はテレビ中継で見た

ことがありますが、国会見学を通して

多くの議員さんたちが日本をよくしよ

うと、真剣に話し合っているのだなど

改めて実感しました。普段の生活では

入ることができない議場に入れたこと

は、修学旅行の思い出の一つになりま

した。

### すばらしい日光東照宮

三年五組

修学旅行に行く前に、校長先生から

日光と家康についてのテストを受けま

した。分からない言葉ばかりだったけ

れど校長先生が丁寧に教えてくださ

ったので、さらに楽しみが増していま

した。日光東照宮は、家康がそれぞれ

の気持ちを込めた彫刻や、立派な建物

がとても素晴らしく印象に残りました。

有名な三猿も、思っていたよりも大き

くて日光の象徴だなと感じました。み

なさんもぜひ訪れてみてください！



### 忘れられない幸せな時間

三年六組

ずっとこの日を待っていました。今、目の前に広がっている光景はみんなを幸せにしてくれる「夢の国」です。

同じ班の子たちと楽しいアトラクションに乗り、おいしいご飯を食べ、たくさんさんの写真を撮って、お土産をたくさん買いました。そんな時間が私にとってとても幸せで、普段できないことをさせてくれる場所でした。ここでみんなと過ごした幸せな時間は、私のなかで忘れられない思い出になりました。

### 楽しかった修学旅行

三年開発

僕がいちばん楽しかったことは、クラス別研修で行ったジョイポリスとデイズニーランドです。ジョイポリスでは、交流学級の友達とアトラクションに乗れてとても楽しかったです。デイズニーランドでは、計画通りに回ることができて良かったです。開発学級の班別研修では、時間や行き方をみんなで話し合っって行動できました。家族に自分



で選んだお土産を渡すと喜んでもらえてうれしかったです。

### 三年生 職場体験

#### 笑顔と大きな声で

二年二組

私は、農遊館で職場体験学習を行いました。仕事をしたとき、大きな声で「いらっしやいませ。」と恥ずかしくて言うことができず、職員の方やお客様に申し訳なく思いました。普段、何気なく聞いている言葉なのに、実際に言ってみると難しく感じました。今回の体験を通して、どんなときも笑顔と大きな声で人と接することが大切だと学びました。どの職業に就いても、この二つのことを大切にしていきたいです。

#### 職場体験学習で学んだこと

二年三組

私は職場体験学習で飲食店に行きました。最初に「明るく笑顔で」と言われました。はじめはお客さんに対して小さい声で話していたけれど、言われたことを意識したら、お客さんに「ありがとうございます。頑張っているね。」と言われました。このとき、うれ



しさと同時に職場の方が言われた笑顔で元氣よく話すことの大切さを実感しました。

#### 人と関わる仕事

二年四組

私は保育園で体験をしました。初めて子どもたちと遊んだとき、すぐには先生たちのように一緒に遊ぶことができませんでしたが、そこで、自分から積極的に話しかけたり、伝え方を優しくしたりすることで、だんだんと関わりが深まってきました。楽しそうに遊んでいる姿を見て、嬉しくなりました。将来は、いろいろな人と関わり、人を楽しませられるような仕事に携わっていきたくて考えています。

#### 相手の気持ちになって考えること

二年六組

私は広幡小学校で職場体験をしました。初めは、どう接したら子どもたちが笑顔になってくれるのかが分かりませんでした。しかし、接していくうちに、子どもたちの気持ちになって考えることが大切だと気付くことができました。私はこの体験を通して、改めて相手の気持ちになって考えることの大切さを学ぶことができました。これからの生活でも、周りのことを考えて行動していきたいと思っています。

### 二年生 海の学習

一年五組

海に広がった網は思ったよりも大きく、この網いっぱい魚が入ったらどんなに重いだらうかと想像しました。漁師さんにアドバイスをもらったとおり、腰を低くしてゆっくり引くと、網はとても軽く感じました。多くの魚がペチペチと跳ねる中に一匹のフグを発見しました。夕食の刺身がさらに楽しみにになりましたが、全員分のフグは取れなかったようです。みんなの笑顔があふれた貴重な地引き網体験となりました。



#### 楽しさの中で学べたこと

一年七組

海の学習最終日、ビーチランドでも最高の思い出を作ることができました。班の仲間と相談しながら行動し、目的の一つでもある海洋生物に親しむことができました。また、絶滅危惧種の生物を見て、原因や私たちにできることを考えると、



色々ありました。少しでも絶滅危惧種を減らせるように、私たちができることをやってみようと思いました。今回学んだ自然や生物を大切にすることを、生活に生かしていきたいです。

### 1つの仲間と

一年二組

私が心に残っていることは、学年全員で起こしたビックウェーブです。一度クラスごとにやったときは少しだけ手をつなぐことに抵抗を感じました。しかし、海の学習を通して友達の良いところをもっと知ったことで、この仲間と一緒にやってみたいと思うようになりました。



た。二百五十二人で起こしたビックウェーブはとても力強かったです。男女の壁や出身小学校の壁、どんなこともこの仲間と乗り越えていけると思いました。

### 成長できた海の学習

一年一組

海の学習で、自ら「気付き・考え・行動する」ことの大切さを学びました。「気付き」とは、今まで目を向けることができていなかったことに目を向けなければいけません。僕は班長として積極的に友達に声をかけたり、五分前行動ができるように促したりしま



で考えて行動していきたいです。

した。一步先のことを考えて行動すると気持ちに余裕ができて、活動に集中して取り組むことができました。これからの学校生活でも、指示を待つのではなく、自分

### あおいMAX

#### 未来へと繋ぐ架け橋

三年一組

「あいさつ 思いやり 今が大切」

先輩方から受け継がれている生活信条。今回のあおいMAXで話し合いをする中で、率直な意見を聞くことができ、葵中をさらによくしていこうとする強い意志を感じました。私自身も意見を出し、あおいMAXの話し合いに関わることができたのがうれしかったです。

今年の生徒会テーマにもある「ゆめ」に向かって、全校生徒一人一人が意識し、これからの伝統を未来へと繋げていきたいです。



#### 表彰の記録

##### コンスポ杯ソフトテニス

##### AWカップ2019

バスケットボール部男子

優勝

二位

### 七・八月の予定

#### 七月

一日(月)

生徒集会

三日(水)

葵夏祭り(五・六限)

六日(土)

夏の大会・コンクール激励会

七日(日)

市長杯

八日(月)

全校集会・情報モラル教室

九日(火)

生徒議会

一日(木)

ひまわりP・大掃除

三日(土)

市長杯(ソフト・バスケット・剣道・水泳)

一四日(日)

市長杯

一五日(月)

海の日 市長杯予備日

一六日(火)

保護者会①

一七日(水)

保護者会②

一八日(木)

保護者会③ 給食終了

一九日(金)

一学期終業式

二〇日(土)

夏休み(～八月二十七日)

二四日(木)

市長杯・西三大会

二三日(火)

市長杯(陸上)

三〇日(火)

JRCトレセン(～三二日)

#### 八月

八日(木)

生徒市議会

九日(金)

中学生の主張コンクール

二四日(土)

イングリッシュフェスティバル

二八日(水)

全校クリーン活動

二九日(木)

始業式・避難訓練

二九日(木)

学校保健委員会

### 葵が丘



#### 大人がすべきこと

生徒指導主事 高橋 遼

「幸せな子」を育てるのではなく、どんな境遇におかれても「幸せになれる子」を育てたい。

上皇后美智子様のご言葉。我々教師が目指すところも同じである。

では、「幸せになれる子」を育てるために、大人は何をすべきか。それは

「自己肯定感」を高めることである。すでに自分に備わっている「良さ」を自覚し、ありのままの「今」の自分を大切にできること。

これは、「幸せになる」ためのスタートでもあり、ゴールでもある。

日本の子供たちの自己肯定感、諸外国に比べ圧倒的に低い。これは日本人の「謙遜」という美德からくるものでは決してない。自戒を込めて言うが、

日本人は不足を補わせることに力を入れ過ぎてしまう傾向にある。また、子供たちの成長を強く願うがために、彼らの内から発するものを待つことなく、先走って多くを求め過ぎてしまう。

我々大人がすべきこと。目の前の子供のステキなところを見出し、どんどん伝えていこう。他の子と比較するのはもうやめよう。その子自身の小さな成長を大いに認めよう。そして、待つ

てあげよう。自分に自信をもった子供は、きっと自分の力で歩み始めるから。

